宮城県南部地域養殖復興プロジェクト養殖復興計画書 (宮戸支所カキ部会)

地域養殖復興 プロジェクト名称	宮城県南部地域養殖復興プロジェクト			
	名 称	宮城県漁業協同組合		
地域養殖復興 プロジェクト運営者	代表者名	代表理事理事長 阿部 力太郎		
	住 所	宮城県石巻市	ī開成1番27	
計画策定年月	平成 24年5月	計画期間	平成 24年7月~27年6月	

1 目的

宮城県漁業協同組合宮戸支所は、宮城県中部に位置し、ノリ生産は東松島市内4支所と、又、カキ生産は鳴瀬支所と切磋琢磨し地域特産品としての地位を築きあげてきた。平成22年度末現在の正組合員が53名、准組合員34名、合計87名、出資金69,807千円で、養殖、漁船漁業・定置漁業が営まれている。その中で養殖漁業はノリ養殖とカキ養殖が主に行われ、カキの生産額は、生産数量13トン、生産金額2,000万円で、積極的に担い手育成も図ってきた。

しかしながら、平成23年3月11日発生の東北地方太平洋沖地震とその津波により、 壊滅的な被害を受け、洋上の養殖施設のみならず、陸上のカキ処理場施設もが、壊滅的な 被害を被り、漁船等も7割以上を失った。

宮戸支所のカキ養殖グループにおいても、震災前にあった施設等は、すべて流失し、現 在カキ処理場施設等の建設等も進めている所であります。

又、カキ養殖業者は震災前2名であったが、新たに6名が加わり現在は8名となっている。 安定的な収入が得られない現在、被災後の養殖の早期復興と組合員の漁業経営の早急な 再建を実現させる必要があるため、カキ養殖業者1名、ノリ養殖業者2名、定置漁業者1 名の4名が、共同作業等の実施などの取組を行うことにより、生産性の向上と経営の安定 化により、養殖業の早期復興を目指すものである。

剥き身カキと種ガキの震災前の生産額に見る生産割合は、剥き身生産が87%、種ガキ生産が13%の比率となっており、販売方法としては、剥き身カキは漁協の共販に全量出荷、種ガキは「カキ生産地」への販売を考えており、今回の事業終了後も全面協業による生産体制を継続する意向にある。

2 地域養殖復興プロジェクト参加者等名簿

○宮城県南部地域養殖復興協議会

	所属機関名	役 職	氏 名	備考
養殖関係	宮城県漁業協同組合	理事	小野 秀悦	役職指定
養殖関係	宮城県漁協塩釜総合支所	運営委員長	千葉 眞澄	役職指定
養殖関係	宮城県漁協塩釜総合支所	支所長	相澤 晴夫	役職指定
地方公共団体	宮城県仙台地方振興事務所水産漁港部	部長	松平 清	役職指定
地方公共団体	東松島市産業部農林水産課	課長	涌澤 晃	役職指定
地方公共団体	塩竃市産業環境部水産振興課	課長	小山 浩幸	役職指定
地方公共団体	七ヶ浜町産業課	課長	伊丹 克己	役職指定
地方公共団体	亘理町農林水産課	課長	東 常太郎	役職指定

○宮戸支所カキ部会

	所属機関名	役職	氏	名	備考
養殖関係	宮城県漁協宮戸支所	運営委員長	小野	喜夫	役職指定
養殖関係	宮城県漁協宮戸支所	カキ養殖業者	奥田	功雄	
養殖関係	宮城県漁協宮戸支所	カキ養殖業者	奥田	浩幸	
地方公共団体	宮城県仙台地方振興事務所水産漁港部	水産振興班主任主査	須藤	篤史	役職指定
地方公共団体	東松島市産業部農林水産課	農林水産振興班班長	奥田	孝信	役職指定

3 震災前の養殖業の概要

宮戸支所の平成22年度カキ生産実績は、2経営体で数量13トン、金額2,000万円(組合実績)の生産額となっているが、主流である「ノリ」の生産額は8億円の実績となっている。

・ 震災前の施設等の状況

施	記 記 記 名	所有者 (個人・共同利用の別)	規格	施設数	
養殖施設	延縄式 ①	個人所有	延縄式	8 台	
別紙			60mダブル		
①~	木架式	個人所有	木架式垂下養殖	8 台	
30	垂下棚②		6列30間	ОД	
とおり	種ガキ	個人所有	種ガキ養殖施設	1.0./	
	養殖施設③		30間	12台	
	1		48.6㎡ 1棟	作業台剥き穴10ケ	
カキ処理場及び設備		共同利用	設備関係	冷蔵庫・海水冷却 ・滅菌装置、海水 ろ過装置、原料カ キ浄化装置他	
作業船(ス	カキ揚げ船)	個人所有	4.6\>	1 隻	
作業船		個人所有	1.3~1.73トン	3 隻	

4 被災状況

		規格及び数	女量	金 額	被災内容
	延縄式 ①	延縄式 60mダブル	8台	6,100千円	滅失
養殖施設	木架式 垂下棚②	木架式垂下養殖 6列30間	8台	2,900千円	滅失
	種ガキ 養殖施設③	種ガキ養殖施設 30間	12台	360千円	滅失
カキ処理	退場及び設備	建屋1棟、設備一式		建物1,000万円 設備 800万円 (冷蔵庫・海水冷却・ 滅菌装置、海水ろ過装 置、原料カキ浄化装置 他)	滅失
作業船(ス	カキ揚げ船)	4.6トン 1隻		1,390万円	転覆
作業船		1.3~1.73トン	3 隻	370万円	滅失
養殖生産物		種ガキ		3 0 0 万円 (5,000連)	滅失
食池土生	// J	剥き身用殻付カ	キ	2,600万円	滅失

5 計画の内容

(1) 共同化の取組

筏設置、撤去作業及び採苗作業、生産作業等全面協業への取組

これまでの取組

震災前はカキ養殖において、恵まれた漁場環境を背景に、養殖海域検査、処理場検査、製品検査 等食品衛生法、生カキの取り扱いに関する指導指針に基づく各種検査を経て安全・安心で消費者 に信頼される高品質の「宮戸産カキ」を提供してきた。

・これまでの問題点

養殖筏の設置、撤去作業、生産作業までの一連の生産工程において、人手を要する作業環境のため、何とか期間雇用者を雇い作業を行って来ているものの、7月以降は他漁業を含め繁忙期のため、期間雇用者の確保が難しく、特に筏設置や撤去作業には多くの日数を費やし、必然的に漁場の往復度合も増えることから多大な労力と経費が嵩む状況にあった。

・今後の取組

筏設置、撤去作業及び採苗作業、生産作業の共同化に取組むことにより以下の効果を見込む。

- ①筏の設置、撤去作業の共同化により、作業日数の短縮により、洋上での作業の負担軽減と、洋上作業の安全性を高め、船の燃料費の削減を図る。
- ②採苗作業の共同化を図ることにより、種ガキ原盤投入の迅速化と、スムーズな投入が可能になるため、好条件下での採苗タイミングを捉えることが見込める。
- ③生産作業の共同化に取組むことにより、生産性を高め、これまで以上に、時間的な余裕が生じることから、安全・安心な「カキ」を出荷するため、食品衛生法、生カキの取り扱いに関する指導指針に基づく衛生的な処理に、より時間を割くことができ、消費者から信頼が得られる高品質の「宮戸産カキ」の生産体制の確立が見込める。

(2) がんばる養殖復興支援事業の活用

• 事業実施者: 宮城県漁業協同組合

・生産契約先又は契約養殖業者名:別紙②のとおり

・実施年度:平成24年度~26年度

• 取組みスケジュール

年	期間	24年	25年	26年	27年
検討期間	24年4月~5月				
事業期間1	24年7月~				
尹未朔间 1	25年6月				
事業期間2	24年7月~				
争耒期间 2	26年6月				
事業期間3	25年3月~				
尹未朔旧 3	27年6月				

(3) 施設復興計画

(施設名は別紙①・②・③参照)

施設名	所有者(個 人・共同 利用の別)	規格	震災前	復興1期目	2期目	3期目	活用する 事業名
延縄式①	個人所有	延縄式 60mダブル	8台	8台	8台	8台	養殖施設災 害復旧事業
	共同利用	延縄式 60mダブル	0	4台	16台	16台	水産業共同 利用施設復 旧整備-事業
木架式	個人所有	木架式垂下 養殖 6列30間	8台	8台	8台	8台	養殖施設災 害復旧事業
垂下棚②	個人所有	木架式垂下 養殖 6列30間	0 台	0台	8台	16台	
種ガキ 養殖施設	共同利用	種ガキ養殖 施設 (30 間)	0 台	0台	14台	14台	水産業共同 利用施設復 旧整備-事業
3	個人所有	種ガキ養殖 施設 (30 間)	12台	0 台	16台	26台	
カキ処理場	共同利用	建屋·設備一 式	1棟 (48.6 ㎡)	1棟 (174㎡)	1棟 (174 ㎡)	1 棟 (174㎡)	水産業共同 利用施設復 旧整備-事業
16- MC 411	共同利用	0.9~4.9トン		5 隻	6 隻	6 隻	共同利用小型 漁船建造事業
作業船	個人所有	1.3~4.6トン	4 隻	1 隻	1 隻	1 隻	

(4) 生産量及び経営体数

平均単価:剥き身=円/kg,種ガキ=円/連

項	Ī	震災前	復興1期目 2期目 3期目		3期目
剥きカキ	生産量(kg)	17,000	25, 700	51, 500	51, 500
3,1 € > 1	生産金額(千円)	26, 283	32, 700	65, 500	65, 500
	平均単価	1, 546	1, 272	1, 272	1, 272
種ガキ	生産量(連)	7, 500	0	12, 000	15, 000
主义	生産金額(千円)	4, 060	0	7, 200	9, 000
	平均単価	541		600	600
経営体数		1 経営体	4 経営体	4 経営体	4経営体

(5)復興に必要な経費

(単位:金額千円)

		震災前の状況	復興1期目	2期目	3期目
	収 入	30, 343	32, 700	72, 700	74, 500
生産量	剥き身 (kg)	17, 000	25, 700	51, 500	51, 500
土生里	種ガキ (連)	7, 500	0	12, 000	15, 000
生産金額	剥き身(千円)	26, 283	32, 700	65, 500	65, 500
土连並領	種ガキ (千円)	4, 060	0	7, 200	9, 000
経 費		28, 915	39, 530	66, 240	60, 500
支払金	全利	42	0	0	0
損害係	R 険料	389	450	1, 000	970
公租分	注	210	0	0	0
漁業権	至行使料	547	890	1, 570	1, 770
漁業旅	远 設共済掛金	О	120	240	240
人件費		13, 147	20, 860	34, 280	34, 280
その他	也の経費	3, 017	1, 080	1, 080	1, 080
水道光	光熱費・燃油代	1, 111	1, 890	2, 780	2, 780
種苗代	C	О	2, 000	0	О
養殖資	至材代	6, 297	1, 690	5, 210	5, 350
修繕費		1, 465	910	710	970
販売費	販売費		1, 800	4, 000	4, 100
減価償	賞却費	1, 980	1, 270	2, 300	2, 540
施設禾	川用料		6, 570	13, 070	6, 420
	収 支	1, 428	▲ 6, 830	6, 460	14, 000
償却·利用	月料前利益	3, 408	1, 010	21, 830	22, 960

<養殖の生産方法>

カキ生産は9月末から出荷を開始し、3月下旬でほぼ終了するが、3月は又、前年採苗した種ガキをロープに挟む「種挟み」作業、4月以降は養殖筏の撤去作業や次期漁期生産に向けた養殖筏(種がき筏)の設置作業に続き7月の種ガキ採苗の準備作業、時期を同じくして秋以降出荷する原料カキの沖出し作業と続き、出荷時期を迎える9月には2回目の種挟み作業を実施し、9月末の出荷を迎える一連の生産体制となっている。

<経費等の考え方>

損害保険料 … 漁船に対する保険料

漁業権行使料 … 養殖施設台数等により算出 漁業施設共済掛金 … 養殖施設台数により算出

人件費 … 経営者、専従者、期間雇用者の賃金

その他の経費 … 通信費、地代家賃、車両経費等

水道光熱費・燃油代… カキ処理場の水道、電気、漁船の燃料代等 種苗代 … 1期目のみ種ガキ購入、2期目より採苗予定

養殖資材代 ・・・・ カキ出荷用容器、原盤代等

販売費 ・・・・ 水揚げ全量に対する販売手数料 5.5%

減価償却費 … 養殖施設で資産計上されているもの 施設利用料 … 南部施設保有漁協への支払を試算

6 復興後の目標

(1) 生産目標

		震災前		10年後
		延縄式養殖施設 8台		延縄式養殖施設 24台
養殖施設		木架式垂下養殖 8台		木架式垂下養殖 24台
		種ガキ養殖施設 12台		種ガキ養殖施設 40台
7± 1 ±/=71.		建屋1棟		建屋1棟
陸上施設		設備一式		設備一式
養殖業者数	汝	1 経営体	\rightarrow	4 経営体
常時都	 養殖従事者数	6 人(経営者含む)	ļ	10人(経営者含む)
臨時原	星 用者数	7人		9人
化 本县	剥き身カキ	17,000kg		51, 500kg
生産量	(本) 種ガキ 7,500連			15,000連
生産金額		30,343千円		74,500千円

(2) 生産体制

共同生産体制の確立を図ることにより、作業時間の短縮や経費削減の改善による効率的な生産体制に 基づき、収支の改善を目指したい。生産物に関しては共販体制の下、全面共販での出荷体制で推進する。

7 復興計画の作成に係る地域養殖復興プロジェクト活動状況

実施時期	協議会・部会	活動内容・成果	備考
平成24年	第3回 宮城県南	(1) 第1. 2回 宮城県南部地域養殖復	
6月11日	部地域養殖復興協	興協議会の議事録の承認について	
	議会	(2) 宮城県南部地域養殖復興プロジェク	
		ト設置要綱の変更報告について	
		(3) 宮城県南部地域養殖復興協議会の会	
		長代理の選任について	
平成24年	第1回 宮戸支所	(1) 宮戸支所カキ部会の会長、並びに会	
6月11日	カキ部会協議会	長代理の選任について	
		(2) 宮城県南部地域養殖復興プロジェク	
		ト養殖復興計画書(宮戸支所カキ部	
		会)の部会承認について	
平成24年	第4回 宮城県南	(1) 宮城県南部地域養殖復興プロジェク	
6月11日	部地域養殖復興協	ト養殖復興計画書(宮戸支所カキ部	
	議会	会)の部会承認について	
		(2) その他	
平成24年	第2回 宮戸支所	(1)宮城県漁業協同組合と宮戸支所カキ部	
6月22日	カキ部会協議会	会との1期目及び2期目に係る養殖	
		生産に関する契約書の締結について	
		(2)宮城県漁業協同組合と宮戸支所カキ部	
		会との覚書の締結について	
		(3)宮城県漁業協同組合宮戸支所「カキ部	
		会」合意書について	
		(4) その他	
平成25年	第9回 宮城県南	(1) 第7回、8回 宮城県南部地域養殖復	
2月20日	部地域養殖復興協	興協議会の議事録の承認について	
	議会		
平成25年	第3回 宮戸支所	(1)宮城県南部地域養殖復興プロジェクト	
2月20日	カキ部会協議会	養殖復興計画書の変更承認について	
		宮戸支所3期目実施期間変更	
平成25年	第10回 宮城県	(1) 宮城県南部地域養殖復興プロジェク	
2月20日	南部地域養殖復興	ト養殖復興計画書	
	協議会	(宮戸支所カキ部会)の変更承認に	
		ついて	
		(2) その他	